第 39 回「中小企業優秀新技術・新製品賞」ソフトウエア部門応募書類

※本応募書類データ（WORD ファイル）を所定の場所にアップロードしてください。

ID	
応募企業名	
作品名（30 字以内）	

1 **※1～20 行まで事務局が使用します。ご記入はしないでください。**
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

プロダクト名（バージョンNo.） ※プロダクト名およびバージョンNo.がある場合は、記載してください

「　　」

プロダクトの概要 ※概要・機能・特徴・用途・価格をコンパクトに説明
※HP等がある場合、応募作品の参考資料・動画を極力掲載し、掲載サイトのアドレスを記載してください

○応募作品（新プロダクト）の概要・全体像について、要点を記載して下さい。

提供形態

☐ クラウドサービス（SaaS/PaaS/IaaS 等）	☐ パッケージソフト（オンプレミス・インストール型）
☐ アプリ（スマートフォン、タブレット）	☐ 組込ソフト・制御モジュール
☐ AI モデル、アルゴリズム、API 提供	☐ その他（具体的に：＿＿＿）

※応募資料の情報取り扱いについて 提出いただいた資料は審査にのみ使用し、公知の情報を除き、応募者の了解なく第三者に開示することはありません。
※すべての項目について、枠内に収まるよう記入して下さい。（内容が不明な簡略記入の項目がある場合は審査対象外となることがあります）
※応募書類（4ページ）のみで審査しますので必要なデータを簡潔に記入願います。
※書式の大幅な変更、記入例を除くプレ印字の変更・削除及びページ数の変更はしないでください。

アーキテクチャ、システム構成図（ユーザー、サーバー、DB、外部 API 連携等）、**動作環境**

プロダクトの優位性

機能（何ができるのか）、**性能**（速度、操作性、表現性等）、**実用性、特徴**（セールスポイント）

※従来の課題と、本作品による解決法・効果を説明して下さい。　※数値を使って具体的に説明して下さい。

○応募作品（新プロダクト）の優秀性・独創性について説明して下さい。
・技術的な裏付けについて、優秀性・独創性を数値等を用いて具体的に記述して下さい。

上記の機能を実現した技術的なポイント

※技術の内容、新規性・優秀性・独創性を、具体的にデータを提示して記載してください。
※AI モデルを使用した場合は、①学習データの独自性と権利処理（どのようなデータを用いて学習したか、自社独自のデータか、著作権等の処理は適切か）、②AI の役割（AI が作品のコア価値なのか既存機能の補助なのか）、③精度と評価指標（どのような指標（正解率・再現率等）で精度を評価しているか）も記載して下さい。

競合するプロダクトとの比較・競争力（①競合製品名・企業名、②競合製品と応募製品の性能・価格等の比較）

・競合製品との性能や価格の比較の側面から、優秀性・独創性を説明して下さい。
→ 比較する対象は、応募作品の利用者の立場からみて比較・選択する可能性あるプロダクトで、ライバルとして意識している直接的な競合製品があれば含めます。直接的な競合製品がない場合は、代替品と比較して下さい。

公的認定や他機関での受賞等（受賞年月、賞名を記載）

・公的認証や本賞以外の受賞歴等
応募作品について受賞等があれば、その旨記載ください。

主な用途および実績等

主な用途（適用分野、対象としている利用者層等）

市場性（市場規模、市場占有率、業界環境等）

○応募作品（新プロダクト）の市場性について説明して下さい。
・どのような市場のどのような用途に利用されるか
・その市場の規模と業界環境、市場での占有率（具体的な数値などを用いて説明してください）

収益確保手段（課金・広告等）、代表的な販売チャネル（直・間接の別、サービス体制・教育、SEサポート等）

販売実績（年度別に、導入企業数・アクティブユーザー数（MAU／DAU）・月間・年間経常利益（MRR／ARR）等）
※「正式リリース（Ver1.0）」「メジャーアップデート」の時期を分けて記載して下さい。 ※販売開始時期（主要機能の正式提供開始日、最初の有償顧客獲得日等）と根拠（ニュースリリース、発表会等）を記載してください。 ※PoC（概念実証）段階は「実証実験の件数、結果」、無料提供モデルの場合は「無料ユーザー数と今後のマネタイズ計画」を記載して下さい。 ※販売開始直後等で、今後の販売見込みを記載する場合は、その根拠も明記してください。

ユーザーの評価（主要ユーザーの推薦等）

・対外秘として審査会のみで使用します。できるだけ具体的に記述してください。個別社名記載が無理な場合は、業種・規模など説明可能の範囲でできるだけ記載してください。

開発関係

開発意図 （開発の動機、目的、狙い）

開発の経緯（具体的なバージョンアップ内容と時期） ※大きな改良・改善は必ず記載してください

・改良、改善の場合、当初の発売日、改良製品の発売日 等を明記してください。

開発目標に対する達成度（自己評価）

①開発に当たり苦労した点、実現が困難であった点

②どのような工夫で克服したか

共同開発（提携先とその具体的な役割及び寄与度(%)）　**提携先寄与度**　　**%**

提携先寄与度＋自社の役割＝100%

※審査上不利益とはなりませんので正確に記入してください（特に公的機関）。**事前に**共同開発者・権利関係者から**承諾を得てください**

特許権・著作権の名称および番号（出願・登録番号・著作権登録の種別／健康・医療関連は厚生労働大臣の承認番号）

※申請中の場合その旨明記ください
※ブラックボックス方針の場合は、その旨記入ください。審査に必要な基本的な原理や実証データが記載されていないと評価できない場合があります

特許権者（出願人）・著作権者および開発担当者、各々との当社の権利関係

※**応募者と異なる場合**は、その権利関係も**明記してください**

関係・利用する他社特許（権利者、No.等）

（例）△△社　「○○について」（特許番号 9999999）　特許実施許諾契約締結済

※**他の権利等の侵害及び権利関係に係争がある(過去に解決済みの場合を含む)場合**は、**必ずその旨を記載**してください

開発費（人件費含む）	万円　※金額単位は 万円 です。ご注意ください。		
開発参加人員	人	**開発期間**	年　カ月

インパクト等

産業・社会へのインパクト（コスト・労働時間の削減、新価値創造やユーザーへの影響度等）

・応募作品（新プロダクト）が及ぼすインパクトについて、要点を記載して下さい。

将来性（今後の発展、拡張性等）

・製品改良、販売促進などについて今後の計画を具体的に記載してください。

添付資料	**産学官連携**に該当ある場合はその契約書・覚書等の写し、**環境貢献**に該当ある場合はデータ・資料を添付して下さい。 **※応募書類および添付資料は、返却いたしません。**

※個人情報の利用目的

応募者にかかる個人情報は、りそな中小企業振興財団が行う事業（新技術・新製品表彰事業、技術移転事業、人材育成事業および調査・研究・情報提供事業）のご案内およびその改善を目的に利用させていただく場合があります。
日刊工業新聞社では、各種商品・サービスのご案内およびその改善を目的に個人情報を利用させていただく場合があります。

ソー